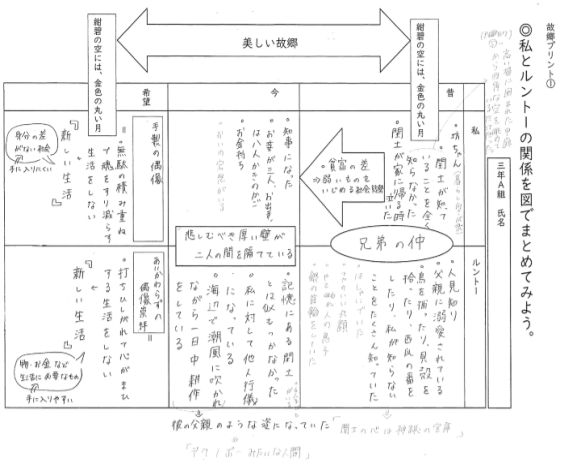
実践事例　中－国－３年

昔と今を比較することによる読み深め【比較する】マトリックス

【校　種　・　学　年】　中学校第３学年
【教　科　・　領　域】　国語科
【実　践　の　概　要】
１　単　元　名　　六　語りと向き合う『故郷』魯迅
２　単元の目標　　『故郷』の内容から，主人公とルントーの心情を読み取り，人間の生き方や社会のあり方を考える。
３　本時の実際
（１）本時の目標
　二人の幼い頃の関係と現在の関係や心情を読み取り，まとめることができる。
（２）本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○前時の振り返り 私とルントーの心情を読み取ろう ・『故郷』の該当する大段落を読む。	
展開	**○私とルントーの心情をマトリックスに書き出す。（個人思考）** **○書き込んだマトリックスを使って，それぞれの読み取りや考えを交流する。（グループ交流）**	視点２（３） 「思考を表現に置き換える」
終末	○読み取りと交流を通して深まった考えを整理して，物語に込められた作者の思いを記述する。（個人） ○記述したものを発表する。 私とルントーの思いは○○である	

４　ツールに見られた思考の姿



５　成果と課題
○身分の違いがもたらした境遇の違いやすれ違ってしまった心と希望を読み解いていく難しい教材だが，図にして書き込んでいくことで読み取りができた。時代を越えて変わらないものや時代の流れによって変わっていくものを考えることもでき，効果的だった。
■立場は違っても気持ちは昔と同じであることを，より一層理解するために，互いの立場を変えて気持ちを考えさせてみるとよかった。付箋に書き，交流すると効果があったと思う。